

ごあいさつ

女川町議会議員 高野 博
女川町議会議員 阿部律子

アンケートに対するご協力、本当にありがとうございました。

893 通に及ぶ回答に敬意を表し、この結果をすべての町民の皆さんと共有するために、報告書をお届けします。

58%以上の「住民投票は必要」というアンケートの声に後押しされ、二人で勇気を持って住民投票条例の提案を行いました。否決されましたが、これからも「町民が主人公」という信念を貫き、頑張れるという確信が湧いてきました。

プルサーマルや原発に対する貴重なご意見が 309 通も寄せられました。ご自分が書いた文章が載っているか確かめてください。また、寄せられた心のこもった多くの意見に目を通していただければと願います。

縮小版「アンケート」をつけています。ご自身の思いを記入の上、この〔2010年の町民の選択と意見〕を、子ども達や孫のために残していただければ幸いです。県議会では遠藤いく子県議が、県の原発行政の幹部職員が7人も20年間にわたって東北電力に天下っていたことを明らかにし「プルサーマル同意は撤回を」と迫りました。東北電力関係者の内部告発です。あまりの癒着に唖然とします。

また、県知事等がプルサーマル同意を表明する中で、名取市議会、岩沼市、七ヶ宿町、大河原町、柴田町の議会で県に対し、「慎重な対応」を求める意見書が相次いで可決されています。私たちにとって心強い限りであり、感謝申し上げます。住民投票や町民の意向調査も行わず、住民の意思を無視したプルサーマル導入は絶対容認できません。これからも、町民皆さんとご一緒に、プルサーマルの実施を許さず、原発の危険から住民の生命と財産を守るため全力で頑張ります。

目次

ごあいさつ	2 ページ
結果のグラフと表、見解	3 ページ～7 ページ
アンケート実施の記者会見	8 ページ～9 ページ
アンケート用紙 縮小版	10 ページ
議員団ニュースNO.1 縮小版	11 ページ
中間報告記者会見	12 ページ～13 ページ
女川町長あて要請書	14 ページ
議員団ニュースNO.2 縮小版	15 ページ～16 ページ
みなさんのご意見	17 ページ～44 ページ
新聞の切り抜き	45 ページ～55 ページ